

# 第6回 北海道・東北 体育・保健体育ネットワーク研究会 福島ピーチラウンド



平成28年2月6日(土) コラッセふくしま(福島市)



「平成27年度 第6回北海道・東北 体育・保健体育ネットワーク研究会 福島ピーチラウンド」が、福島市で初開催されました！佐藤 豊先生、高橋修一調査官を始め、秋田県2名、岩手県2名、宮城県1名、山形県1名、茨城県1名と、他県からも多数の皆様方が駆けつけてくださいました。福島県内からは、小・中・高校の先生方や大学生・大学院生など32名が参加し、外の寒さとは正反対の熱気溢れる“熱いらウンド”となりました。

## 1 情報提供①「全国学校体育研究大会福島大会へ向けて」(鹿屋体育大学 佐藤 豊 教授)

佐藤 豊先生からは、今年11月11、12の両日に、福島市において開催される「全国学校体育研究大会福島大会」へ向けて、授業づくりに関わる講義をいただきました。「体育学習のわかるとできる」、「体育における深い学習とは?」、「学習評価実施のポイント」等々について、一同、圧倒されるような言葉のシャワーを浴びながら、授業づくりの極意を聞き漏らすまいと、耳をそばだて眼を見開き講義に参加していました。豊先生の“授業づくりへの熱い思い”がこもった講義を受けて、それぞれ学体研の準備や日頃の授業研究に一段と熱が入ることでしょう。



## 2 情報提供②「中央教育審議会教育課程企画特別部会【論点整理】」より

(国立教育政策研究所 高橋 修一 教科調査官)

高橋修一調査官の講義では、冒頭、福島ピーチラウンド初開催を祝し、打ち上げ花火のアニメーションで華々しくスタート！続いて「次期学習指導要領のポイント」、「社会の変化と学習指導要領の役割」、「育成すべき資質・能力の三つの柱」、「アクティブラーニングとカリキュラムマネジメント」等々、時にユーモアを交えながら、テンポ良くわかりやすい、そして体育・保健体育への熱い思いが伝わってくる講義は、あっという間の時間でした。学習指導要領は、「日本の子供達の学びを支える重要な役割を担っている」という言葉に一同深く頷き、授業充実への思いを新たにしました。

## 3 指導と評価のワークショップ&まとめ

休憩の後、佐藤 豊先生、高橋修一調査官の講義の熱気もさめやらぬなか、「指導と評価のワークショップ」がスタート。テニスの単元を題材に、「指導と評価の位置付け」についてグループワークを行いました。他県から参加のスーパーバーザーの先生方から助言をいただきながら、各観点ごとの評価時期について、けんけんがくがく意見を出し合い「単元構造図」に落とし込み、指導と評価への理解を深めました。



## 4 情報交換会

福島市の名物“円盤餃子”が食べられるお店「川鳥」にて、16名の参加者のもと、盛大に情報交換会が行われました。また、豊先生を始め、他県の先生方より頂戴した各地の美味しい名酒も振る舞われ、会話も弾みました。会の中程でそれぞれの自己紹介があり、参加への経緯や授業への思いが熱く語られました。会も終盤、豊先生の心に響く中締め言葉に、高橋調査官の目に光るものが…それを見ていた私も大感動の一時でした！（文責：福島ピーチラウンド事務局 佐藤真一）